

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月29日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901670		
法人名	有限会社 ツインクルサポート		
事業所名	グループホーム かがやき		
所在地	北海道旭川市末広5条2丁目4番地の1 (電話) 0166-55-6606		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年3月29日	評価確定日	平成20年4月14日

【情報提供票より】(平成20年3月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年5月21日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤	15人, 非常勤 6人, 常勤換算 12.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての 1 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	18,000 ~ 26,000 円
敷金	有() 無()		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 無()	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(3月13日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	8 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 84.6 歳	最低 72 歳	最高 96 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団博彰会佐野病院、医療法人社団並木通りクリニック 医療法人社団啓成三戸歯科医院、医療法人社団細野歯科クリニック
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「素直な気持ち」「謙虚な気持ち」「感謝の気持ち」「地域共生の気持ち」を理念として掲げ、その実践に向けて日々取り組んでいるグループホームです。「かがやき祭り」は、3回実施され、町内会や地域の人達、日常的に交流のある子供達やボランティアなどが参加して開催され地域との交流や認知症に対する理解や啓発に積極的に取り組まれています。また、職員は三部門の委員会(行事委員会、新聞委員会、リハビリ委員会)を作り安心した生活をおくれる介護を目指しています。リハビリ委員会では、毎日、歌や踊り、体操を行い利用者が参加できるように工夫した取り組みが行われ身体機能の維持・向上や活動意欲を触発する取り組みが行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、地域のケアサービスの質の向上に貢献する取り組みについて提案があげられていましたが、施設長は地域のグループホームのケアサービスの質の向上や行政との連携に中心的役割を担い認知症に対する啓発や広報に取り組んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して真摯に取り組まれ新たな気付きや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果は、運営推進会議や家族会にその内容が報告されていると共に課題解決の為に利用されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、家族、町内会役員、婦人部長、民生委員、社会福祉協議会職員、施設長、管理者が参加して開催され、理念やセーフティーマネジメント、地域交流など意見交換されています。開催6回目の議題については、消防署の協力・指導を得て以下が実施されています。火災避難方法・通報、電話連絡体制について 初期消火及び避難誘導について AEDの使用法の説明と体験 救急救命訓練の実施について等具体的に取り組まれています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族会と認知症に対する勉強会や意見交換が定期的に行われています。また、家族の来訪時には健康状態や苦情・要望など話し合わせ運営に活かされています。また、苦情等の受付窓口を明示して玄関前に苦情箱を設置して意見や苦情を表せる機会を設けています。定期的にグループホームかがやき「ブライトつうしん」が発行されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 理念の中に「地域共生の気持ち」を明示して、地域に密着した活動を管理者・職員間で共有しています。町内会に加入して、町内会行事に参加したり、地域の人達が気軽に立ち寄れるように花を植えるなどの工夫や福祉専門学校生や地域のボランティアの受け入れ、「かがやき祭り」の開催など地域との交流を積極的に行い日常的に地域との連携が促進できるように取り組まれています。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「素直な気持ち」「謙虚な気持ち」「感謝の気持ち」「地域共生の気持ち」を理念として掲げ、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有と達成のために、個々の職員が朝礼等を通じて暗唱して、その実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	理念の中に「地域共生の気持ち」を明示して、地域に密着した活動を管理者・職員間で共有しています。町内会に加入して、町内会行事に参加したり、地域の人達が気軽に立ち寄れるように花を植えるなどの工夫や福祉専門学校生や地域のボランティアの受け入れなど地域との交流に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して真摯に取り組まれ新たな気付きや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果は、運営推進会議や家族会にその内容が報告されていると共に課題解決の為に利用されています。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については評価日現在6回開催されている。委員は、家族、町内会役員、婦人部長、社会福祉協議会職員、民生委員、施設長、管理者で構成され具体的に活動に取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の研修会・講習会参加や市担当者との日常的な情報交換などによる連携でサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	玄関前に苦情箱を設置して意見や苦情を表せる機会を設けています。定期的にグループホームかがやき「ブライトつうしん」が発行されています。また、金銭管理についても毎月報告されている。	○	特筆すべき点として、家族会と認知症に対する勉強会や意見交換が定期的に実施されています。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会との意見交換や運営推進会議でのホームの活動の報告や運営についての話し合いなど日常的に対応が行われています。また、家族の来訪時には健康状態や苦情・要望など話し合わせ運営に活かされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は殆ど無い。また、職員の採用時には、定期的に発行されるグループホームかがやき「ブライトつうしん」で職員の紹介記事が掲載されている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム連絡協議会やケア研究会などの外部研修参加を積極的に奨励され実施されている。新人研修など内部研修も実施されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会、ケア研究会などを通じて他施設との意見交換や研修、相互訪問など積極的に行われている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、本人の見学で職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の思いや意向を把握する取り組みや利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握するなど本人と共に支えあう関係構築に努力している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや意向の把握に取り組んでいる。また、行事参加や外出、買い物、趣味への支援や本人の希望や意向を尊重した取り組みが行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに、モニタリングを実施して介護計画は作成されて利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	個別の期間毎にモニタリングを実施して介護計画の見直しを実施している。また、状態変化などでは、随時見直しを実施し、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、馴染みの美容院への送迎や通院の支援が行われている。また、看護師が常勤しており、日々変化する利用者の状況に応じて医療連携体制が活かされている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者をよく知る看護職員が常勤しており、かかりつけ医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、医師・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族の意志が確認され、職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの希望や意向、誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの希望や思いを把握して、ラーメンや和食などの外食や大型スーパーでの買物などの外出への支援、リハビリの実施で持続可能な生活を送れるように支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、調理の下準備、食器拭き、おしぼりたたみ等職員と利用者が一緒になって行っている。また、職員も一緒に和やかに食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに応じて、ゆっくりと入浴が楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	行事委員会、リハビリ委員会、新聞委員会が作られ利用者一人ひとりの生活歴を活かしながら、楽しみごとや気晴らしの支援が行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	デパートや大型スーパーでの買い物、近隣への散歩、花見や動物園見学、外食ツアーやドライブなど戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、自由に出入りができるように取り組んでいる。また、利用者の外出傾向を把握して職員がさりげなく見守り、安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	資格を持つ防火管理責任者が配置され、火災避難訓練や救急救命訓練が定期的に実施されている。	○	今後は、さらに日ごろより地域の人々の協力を得られるように、地域の人達が参加した訓練が行えるように働きかけを行う検討がされています。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別の嚥下状態の把握や嚥下体操、リハビリ体操など身体機能の維持・向上ができるような支援が実施されている。また、具体的な食事や水分の摂取量、栄養状態に応じた対応が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。ホームは二階建てで、広い廊下や居間では採光が採り入れられ明るく清潔感が漂っている。広いリビングでは、リハビリ体操や歌唱、踊りが毎日開催されている。また、広く作られた窓やベランダからは、季節感を味わえる庭や樹木が眺められ開放感がある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、家族の写真や観葉植物、縫い物の作品が飾られたり、使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。